

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

381

特定感染症予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
中事業		特定感染症予防事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	谷井 朋子 488-5104
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	特定感染症を早期発見・早期治療することにより、重症化を予防するとともに、感染の予防及びまん延の防止を図る。		性感染症及び肝炎ウイルスの抗体検査及び相談を実施し、早期発見、早期治療につなげることで感染症のまん延防止を図るとともに、肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業を実施し、確実な治療の実施につなげる。また、特定感染症予防についての普及啓発を実施し、感染症の予防を図る。			
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	・性感染症検査及び相談 ・肝炎ウイルス検査及び相談、陽性者の把握、未受診者への受診勧奨	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,872	1,679	1,686	1,470	1,686	1,678	1,637	0	1,637	0
伸び率(%)	△11%	△8.6%	△9.9%	△12.4%	0%	14.1%	△2.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,892	4,539	6,439	5,043	3,366	2,693	2,469	0	0
	正規職員以外	304	304	628	551	1,690	1,928	1,842	0	0
	小計	6,196	4,843	7,067	5,594	5,056	4,621	4,311	0	0
国庫支出金	1,101	1,026	1,004	1,004	998	998	962	0	962	0
県支出金	47	24	47	42	47	39	45	0	45	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	724	629	635	424	641	641	630	0	630	0
所要人数(人)	正規職員	0.74	0.57	0.83	0.65	0.45	0.36	0.33	0.00	0.00
	正規職員以外	0.15	0.15	0.28	0.24	0.83	0.96	0.91	0.00	0.00
主な予算内訳	検査分析委託料975千円、手数料539千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	種類	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	検査・相談の啓発の種類	種類	目標値					
			実績値	8	8	8		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	受検者数(性感染症検査)	件	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	98	85	155		
			達成度(%)	39.2%	33.6%	62.0%	%	%
成果指標	受検者数(肝炎検査)	件	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	191	156	123		
			達成度(%)	63.7%	51.7%	41.0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	梅毒届出件数が増加傾向であり、全国的にも若い世代を中心に増加している。和歌山市においては、令和4年は男女とも40歳代が多い傾向である。定点報告における性器クラミジア感染症の届出件数も増加しており、20代の届出件数が多い。若年層への性感染症予防のため普及啓発が必要である。
見直し・改善内容	感染の予防及びまん延防止のため、様々な媒体を活用し、性感染症や予防についての正しい知識の普及啓発を行うとともに、検査の実施件数を増加させる。また、医療機関等の関係機関と連携しながら、感染症の早期発見、早期治療につなげる。高校への出前講座の実施やSNS等を活用し、若年層に対する啓発の強化を実施する。